夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金三錢 一箇月 金八十錢 郵稅 一箇月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 二〇〇〇・三三五番・二二三
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二郎

滿洲に於ける土地制度研究(六)

土地法の沿革と法源

一、序說

滿洲社會の農業的特性は、ローマ法的個人法の繼受的法典事業たる民律草案(清末)及び比較的支那固有の制度を採用したと云はれる國民政府民法をも單なる抽象的な法文の羅列たるに止らしめた、即ち滿洲社會の現實的法規は主として慣習法規にして成文法の關る可きものなし、新國家成立以來民政部內に土地局を設け滿洲土地制度の基本的調査をなし之に基いて土地法の制定實施に當ることとなりたるも其の基本的法令の制定公布を見る迄には相當の日子を必要とす可きを以て、政府は人權保障令法律適用條例を公布して從來の法令にして滿洲に行はれたるものに關しては、新國家の主義綱領に反せざるものに就いてのみ當分の內效力を有するものと看做して居る從て此の關係からは勿論、新土地法の有效な實行性を保證せんとせば、專ら滿洲社會自らの生み出した傳統的制度慣習の該博精緻な研鑽に俟たねばならぬ、次に滿洲地制の法律的考察として一、土地法の淵源二、滿洲土地法上の權利の種類及び其の內容を概觀するのは當然の順序であらう

二、土地法法源

(一)成文法

イ、中央成文法

中國國民政府に依りて發令せられた民法及國民政府土地法は前述の如く新國家に依り當分の內效力を有するものと看做されてゐるが、社會規範としての實質的效力乏しき滿洲の現實に即せざるものである

ロ、地方成文法

國民政府組織法第二條の省令效力論は、滿洲に關する限り新國家の成立に依つて實質的に解決せられ、問題は現在各省に於て何れも數十を下らざる現行地方成文法及び將來發布せらる可き地方省令と中央法令との融合化の過程に轉化してしまつた

(二)慣習法

慣習の效力論は現代民法解釋上、論爭多き興味ある問題なるも、之亦滿洲に於ては、實質的に解決すみで、支那特に滿洲の如き一般に近代的法律思想發生の地盤を缺く特殊なる社會生活には、成文法絕對主義の政策的論理が生んだ慣習法論は、發生の基礎を存しないからだ、然かも土地法の性質たる最も沿革的特殊性の大なるものゝ滿洲土地法源に於ける慣習法の地位の大なるや言を俟たざるなり

(三)條理

法律新定の進步的性質は條理の活用即ち立法者の意識的觀念作用に依ること多し、是れ即ち條理の慣習法と相對して有つ法源的重要性である

三、滿洲に於ける土地に關する權利の基本的關係

(一)土地私有化の沿革

法律が一の社會規範たる以上權利概念の歷史的、社會的カテゴリーに屬することを言を俟たず、吾人の有する所有權概念即ち「土地に對する總括的支配權として絕對的使用收益處分を有する」とする觀念が、其の將來の展望に於て、土地の國民經濟的制約に依りて公益的統制を受く可しとする社會思想に依つて變革を蒙りつゝあるか如く、滿洲社會に於ける土地利用の觀念的統制の役割は、所謂「王土主義」原則に與へられてゐたのでつた、土地私有化の沿革とは從て滿洲社會商業資本化の趨勢が王土主義原則なる封建的規範を乘り越えて之を形式化し行く過程の一步一步である、今所謂周時代の非田還援の法に典型的に現はれてゐる「普天下莫非王土」との王土主義的土地統制下にありたる土地が、現在の如く私有化せられるに至つた主因と云へば、左の諸點を擧げ得るであらう

一、周の後期交通の要衝に當る地方に於て商業經濟が發達するに伴ひ、財の交易に慣れ資本の集積を欲したる地方人は一定期間を限りて王より利用を許されたるに止る土地に對しても、王土主義に表面反せざる樣王に對する地位を交代するが如き身分法的行爲に隱れて利用權のみを讓渡する方法を行つたこと

二、宅地等に就き例外的に許された永續的利用享有の便益を味ひたる以上、耕地に就ても繼續的利用を行ふ者行政力弛緩と共に多きを加へ、遂に人民の耕作權の官に還付するを見ず、次第に所有權の實を有するに至つたのである

然しながらかゝる土地私有化の趨勢にも拘らず、その土地私有の根本觀念は古來よりの王土主義と相容れないものではなく却つて王土主義を基調とする土地利用權能の擴大化にすぎないとの觀念に外ならないことは特に注目せらるべきことと思ふ

(二)土地所有權の性質と型態

上述の如き土地私有化の沿革を考へる時、所謂土地所有權は我國民法の如き土地絕對支配の權能なりとは定義するを得ず、他人の土地を使用收益する權利の大なるものに過ぎない即ち國民は王即ち國家に對して一定の租稅を負擔する條件として領土の用益を保障せらるとその王土觀念の範圍を出てゐないのである、從て滿洲に於ける土地所有關係は第一次的土地支配權(王土主義に基く國家)第二次的土地利用權(國家の許容に基く其の形式は租關係である)の範疇に判別せられ得る、即ちかゝる第二次的土地利用關係の形式は「一種の借地關係」なりと斷ずるを得べし然し權利關係の形式租地なりとは云へその實質に於ては處分權能亦裏面にかくれて行使せられ、所謂近代的所有權の實質を備ふるもの多きことは勿論である

以上に於て明かに觀察されることは、法律の實行力構成の二要素形式內容の乘離といふ現象であらう、舊き統制原理の死滅にも拘らず新しき指導原理生れざらしこゝに欽世紀社會と法律の不自然な妥協は沈滯な發展なき社會狀態の中に醱酵し、獨り無政府的戰爭狀態の英雄馬賊團をして軍閥的獨占利益を貪らしむにすぎなかつたのである、此の背反の克服こそ、新興滿洲國立法事業に課せられ、蓋し最大の使命でなくてはならぬ

貴衆兩院の秘密會內容

【東京二十一日發國通】齋藤、內田兩相が貴族院で爲したると同樣の報告を爲したる後國民同盟の小山谷藏氏登壇
事こゝに至つた以上政府としても國民としても進む道は他にはない。但し內田外相の報告が新聞報道の範圍を出でぬを遺憾とする、此の最後の斷末魔とも言ぶべき時に、云々
と發言するや議場騷然として取消しとの聲盛で秋田議長の注意に依り取消した後最後に聯盟が急變したる事情を明かにせよと質し內田外相は報告通りと輕くあしらつた

【東京廿一日發國通】貴族院本會議は午前十時十五分開會直ちに秘密に入り、齋藤總理最惡の場合は聯盟脫退閣議決定の經過につき報告し、內田外相は聯盟との折衝經過を報告して、茲に至つては最後決意を實行せざるを得ぬと付言し、赤池濃氏は日支問題を中心として聯盟のユダヤ人とフリーメイソン系の暗躍したる事實あるが、外務當局の對策如何と質問し、內田外相はその事實は承知して居る、相當の考あるも、こゝでは發言を控へる、軍縮や勞働會議への對策は未決定であると答へ十時四十五分秘密會を終了し直ちに日程を變更し國務大臣の演說に對する質疑を後廻しとし、醫師法中改正法律案の政府提出案を一括上程し、內相から夫々提案主旨を述べ、質疑なく九名の委員附託となり、次で衆議院提出の議會制案たる議院法中改正法律案を議題とし、大河內輝耕子と堀切法制局長官との間に、政府の此の改正案に同意するや否やに關し質問あつて後委員附託となり軍事愛護に關する請願外廿一件を委員長より報告を終り、採擇して午後一時十二分散會した

現內閣の企業合同統制策に對する反對聲明(四)

―大日本生產黨―

此實狀を更に裏書きするものは、同社の資產運用狀態である

資金運用狀態を示すと左の如くである

固定資產投資 一三〇、一六二(正味資產ノ七割一分二厘)
船舶代價 一〇五、六〇一
小蒸汽船及艀 三三八
地所建物 一七、五〇四
未動資產投資 五四、一〇七(正味資產ノ一割三分九厘)
貯藏船用品 九五五
有價證券 一八、三一〇
未決算勘定 四、八〇三
營庫資產投資 三五、三六五(正味資產ノ一割四分八厘)
貸金勘定 一一、四二一
其他ノ債權 六、八六二
政府勘定 三、七六六(正味資產ノ一厘六毛)
現金及預金 六、七六四(正味資產ノ三分九厘)

正味資產の七割一分二厘は固定資產で、一割三分九厘は未動資產である、合計八割五分二厘になる、當社の未動資產中、換金性あるものは有價證券のみである、而かも其れは全部子會社的關係に對する投資である、從つて簡單に處分する事は事情に於て許されない、今其の內容を示すと左の如くである

近海郵船株式會社株式
日清汽船株式會社株式 一九九、三〇〇(總株數の九割九分六厘)
朝鮮郵船株式會社株式 一四五、五九九(總株數の四割四分二厘)
横濱船渠株式會社株式 六、五三〇(總株數の四割七分二厘)
海外興業株式會社株式 三、一一〇(總株數の三割三分九厘)
自國經濟株式會社株式 二四、七二六(總株數の二割四分五厘)

右の外に內外公債等に投資して居るが、其中重なるものは近海郵船投資で同社株式の九割九分六厘 九百九十六萬五千圓を投資して居る、同社資本金一千萬圓の殆んど全額を投資して居る事に依つて純然たる子會社である事が判る日清汽船と朝鮮郵船は大阪商船と共同出資、共同經營であるものである

横濱船渠、其他は當社が大株主として子會社的關係に在るものである

茲に於て郵船合同實現の上は之等の會社も行動を共にするに至るは言を俟たない

然して、日本郵船が三菱の支配會社たる關係上乙等の會社が三菱の傍系支配會社として金融上に經營上に三菱の支配統制下に置かれる譯である

斯くて有價證券中、換金性可能のものは帳簿價格の三分の一以下、即ち、近海、日清、朝鮮の三社投資を除外せる分のみである

怪人凱歌 (百五十四)

(舞臺上演 映畫化) 須藤鐘一
(畫) 瀧 秋方

罪惡 (六)

「さア、お掛け下さい。先程はお電話をいたゞいたさうでして、失禮しました。何ですか、御心配の事件でも起りましたか?」

岡野探偵長は物馴れた態度で、客に椅子をすゝめ、自分も肱掛椅子にゆつくりと掛けて卓上の巻煙草に火をつけ、靜かにふかすのであつた。

「はい、實は急にお願ひしたい事が出來ましてな……」と、天野誠也も椅子にかけ、いつもの傲然たる態度で『尋ね人なんですよ』

「はゝ、さうですか。それではゆつくりお話しなすつて下さい」

と、探偵長は大きくうなづいて見せた。

天野には探偵長の容貌と云ひ、悠揚迫らざる態度があつて、何となく信賴の出來るやうな氣がして、內心頼もしさを感じた。

そこで、彼は屋敷から連れ出して來た藤田眞佐が逃亡した前後の事から初めて、當らず觸らずの所を一通り話して、至急に彼女の所在を搜し出してもらひ度いと依賴した。

岡野探偵長は、ぢつと耳かたむけて相手の話しを聞き終ると、微笑を口邊にうかべながら、

「分りました。それでは早速今日唯今から着手いたしませう。だが、一週間ばかりの御猶豫を願ひます。一週間のうちには、何とか眼鼻をつけて、お知らせいたしませう」

と自信ありげな口調で云つた。

それから二三、參考となる事柄について聞きただした後、岡野探偵長は天野誠也を門外に送り出した。

岡野が客を送つて、取つてかへすと、部下の江崎がニヤ〳〵しながら別室から出て來て、

「先生、來ましたね」

「うん、それ見ろ、やつぱり來たんだらう」

と、探偵長は、もう以前から天野が訪ねて來る事を豫期してゐたらしい口ぶり。

「先生の御豫測は全く神のやうです。敬服いたしました」

と、江崎。

「なに、不思議はないさ。私の推理的豫想は、科學的の根據の上に立つてゐるんだからな。所謂推理なんだ」

探偵長は安樂椅子に腰をおろし煙草の煙りを空に向つて吐き出すのであつたが、やはり得意の色は隱し切れなかつた。

そこへ、又一人の部下の青年、武野が入つて來て、

「どうしたんですか、何か面白い事件でもありますか?」

と云ひながら、二人の顏をじろじろと見くらべる。

「そら、此間から僕らが一生懸命になつて其の素性を搜してゐた例の天野誠也が、自身で飛び込んで來たんだよ。――それが、かねて先生の豫言通りなんだから、全く驚いちやつたのさ」と、江崎が說明して聞かす。

「ほう、それはまるでシヤーロツクホルムスの探偵小說そつくりの話しだね。それで、何か奴さん事件をもちこんだのですか?」と、武野も呆れて眼を見張る。

「やはりそれが三木氏の依賴と同じことなのさ」と江崎。

「ぢや奴さん、藤田眞佐子の所在を搜し出して、彼女をどうかしようと思つてるんだね」

「さうなんだ。まさかこちらが奴さんの舊惡をすつかり調べあげてゐようなどゝは、それこそ神ならぬ身の知るよしもないからね。ハツハ、、、」と、江崎が面白がつて笑へば、

「ハツハ、、、全く事實は小說よりも奇なりとは、此のことですな」と、武野が合槌。

「ところで先生、どうなさるおつもりですか、藤田の所在を天野にお知らせになるんですか?」

と、江崎が不安らしく問ひかける。

「さうだいくら探偵が商賣でも、あんな危險性を帶びた人物には、うつかり知らせられませんよ。その爲めに飛んでもない犯罪事件が起らないものでもありませんからな」

と、武野も危んで探偵長の顏色を窺ふのだつた。

最後の審判

聯盟總會開く　イーマンス議長
先づ紛爭處理經過を報告
傍聽席また滿員

(ジユネーヴ廿一日發國通)聯盟臨時總會は二十一日午後三時四十三分(日本時間午後十一時四十三分)開會されたが、總會後十九ケ國委員會が行はれる事となつた

(ジユネーヴ廿一日發國通)イーマンス議長の報告は、午後四時七分(日本時間廿二日午前零時七分)に終り、廿四日再開に異議なければ動議採擇と見做すと述べ、直ちに閉會を宣した

(ジユネーヴ廿一日發國通)ジユネーヴの聯盟總會は審議後僅か廿七分で午後四時十五分(日本時間廿二日午前零時十五分)閉會した、次回は廿四日開會に決定

松岡全權歸國前に　脫退通告を發送か

(東京二十一日發國通)松岡代表の歸國經路は外務首腦部協議の結果希望通りアメリカ經由と決定して昨夜深更回訓した、政府では松岡代表歸朝後聯盟脫退の廟議を決する豫定なるが事情によつては歸國前にも脫退通告を發するかも知れぬと言はれてゐる、松岡代表はアメリカに於てルーズウエルト氏や各要路者との會見を希望してゐるが許可するか否かは未定である

イ議長の報告は　比較的穩健なもの

(ジユネーヴ廿一日發國通)廿一日の聯盟總會は委員會館で開會、傍聽席は滿員、イーマンス議長開會を宣すると共に第一議題たるナンセン記念避難民務局長後任問題を議場に諮り、直ちに日支紛爭事件審理に入り、紛爭處理經過を報告して曰く

昨年十二月九日の總會結果は既報の決議案と理由書草案であるが、之に對しては兩當事國を含む總會の滿場一致の票決が必要で日支の受諾を確保せずして之を總會に提出することも何等有効なる役をなさぬと思惟する日支兩國代表は此の決議理由書草案に何れも修正を提出し、殊に日本は原案に對し根本的變更を含む修正案を提出した

其結果委員會は全會一致の見込みある決議案を作成する事は困難と認むるに至つた、委員會は日本に對し新修正案を提出するに必要な時間を與へん爲め一月十六日迄會議を休會日本代表と折衝を續け得るやう取計つたのである

一月初め山海關占領並に熱河占領の危險の報道により事態惡化したが、委員會は最後の決定を延期し、和協の努力は未だ失敗に終つたと見做さぬに決した、然るに十八日日本の出した新提案は日支のみならず委員會にも受諾し得ないものであつた

次いで、イーマンス議長は引續き行はれた日本側と交渉經過を述べ、第四項による報告書起草に着手した理由を說き

「其後も日本より交渉委員會の權限範圍の重要提案があつた、然しこれに關し委員會は二月八日日本に對し、確然たる質問を提出したが、日本の回答は遺憾乍ら和協手續き達成の努力が盡きたものと思惟する外無きに至つた以上が聯盟が日支紛爭事件に關し今日直面して居る情勢である、和協手續きの扉は總會が報告書を採擇する迄は未だ閉ぢたものと謂はれないが、和協手續き達成には單に總會の受諾し得る新提案が爲される事が必要なるのみならず、現在事態が惡化されず新たな軍事行動に出でない保證を必要とする、余は總會が本日報告案を審議す可き事を提案するものでない、斯かる重大な時期に當り、各國政府も自國代表に訓令を與へる丈けの時間の余裕を與へる可きである

從つて總會は二十四日迄休會し、二十四日報告書案の審議を開始すべき事を提案する」と述べ報告を終る、時に午後四時十分

聯盟總會の順序

(ジユネーヴ廿一日發國通)ドラモンド總長は二十日夜杉村次長、イーマンス議長と協議の結果、總會の順序を左の通り決定した

一、二十一日午後三時半(日本時、午後十一時半)開會、イーマンス議長はリツトン報告提出以後の滿洲問題審議の經過を報告し和協努力が不成功となり第四項による報告書を作成するに至つた旨宣言して考慮を求め、第四項適用が決定し二十四日から一般討論を開始すると宣し、事務的に議事を進め、若し支那が發言を求めれば之を許し、同時に日本代表部にも發言を許し一般討論の幕を開く

一、二十四日は他の會議に差支えねば午前午後とも總會を開き、一般討論の形式にて日本を先陣とし、支那が續き各代表に演說をさせる日本代表の希望によつては兩當事國の演說は最終とする事を容認する

一、演說申込みがなければ二十四日午後、多ければ二十五日午前に討論を打切り、報告案の採擇に移り各代表にロールコールの方法により可否を言はせ過半數が贊成すれば成立する譯である斯くて松岡代表は即時發言し反對宣言をなし脫退要求の聲明を爲し退席する

日本の聲明書を　主要各國代表に手交

(ジユネーヴ廿一日發國通)我代表部は本日の總會に提出された報告に對する日本の聲明書を主要各國代表に手交すると共に、これによつて我立場を說明した、即ち松岡代表はイーマンス、エデン、ドラモンド、ベネツシユ氏に、長岡代表はマシグリ、ホンケラー氏に佐藤代表はイタリー代表、スイス代表に伊藤氏はスエーデン代表に、澤田氏は參考の爲、米國代表などに、それぞれ手交し、更に午後六時これを一般に公表した

我聲明書草案は既に各方面に配布

(ジユネーヴ廿一日發國通)報告案に對する我代表部の聲明書は廿日夜代表部會議を開き、草案を修正し、廿一日午前九時代表部會議で更に吟味し盡し、書過ぎ內外記者團に配布し、同時に聯盟に送り、主要代表には代表部から手交した

熱河問題に就いては陸軍提供の材料を基礎に事情に暗い外人でも納得出來るやう平易に解說したものが廿日夜脫稿したので聲明書と共に配布した

昨日の十九ケ國委員會は交涉委員會を決定の爲

(ジユネーヴ廿一日發國通)十九ケ國委員會本日の會議は報告書採擇交涉委員會成立の場合、右委員會參加受諾國を決定せんが爲めである

報告書採擇に　日支代表のみが演說

(ジユネーヴ廿一日發國通)二十四日の總會は午前十時半開會の豫定で報告採擇に當つては日支以外別に演說はなさぬ模樣である

十七回勞働會議

(東京廿一日發國通)內務省では第十七回國際勞働會議總會に聯盟脫退をしても參加するに決定した

帝國の決意は　ベ外相に話した
＝松岡代表語る＝

(ジユネーヴ二十一日發國通)松岡代表は語る

今日は三番叟だつたね、日本の聲明書は議場で既にエデン次官、ベネツシユ外相に渡した、勸告書を可決させれば日本は脫退の外はないと語つて置いたベネツシユ外相は何とか良い方法は見付からぬものかと云つて居た、議長の演說は穩健だつたが、日本軍が東三省を占領したといふ言葉を使つて居たのには憤慨した

後も會議を續け、一日で終了することとならう、會議の主要問題は熱河討伐であるが之が何の程度まで討議されるか

に依つて決まるが今の所では日支以外に發言する國はない模樣

ダニの樣な小國側の態度
總會は終了しても日支問題から離れぬ

(ジユネーヴ二十一日發國通)十九ケ國委員會の八小國代表は二十日夜ベルギー代表イーマンス氏を議長とし、長時間總會が第十五條第四項による報告書と勸告案を採擇後の處理方法について重要協議を遂げたが、會議の大勢は報告書の採擇後も聯盟か日支紛爭事件より手を引かず依然何等かの方法で事件との關係を維持すべきだと言ふにあり結局總

交涉委員會の構成

(ジユネーヴ二十一日發國通)總會直後開かれた十九ケ國委員會は、報告第四部勸告に規定さるる交涉委員會の構成がドイツ、イタリー佛國、英國、スペイン、アイルランド、チエツコスロバキア、ベルギー、ポルトガル、オランダの十ケ國で成る可き事を決定した

島田俊雄氏の　政府激勵演說

(東京廿一日發國通)下院本會議秘密會議後島田俊雄氏が爲したる演說大要は左の如し

帝國政府の態度に關し明確なる言明を爲されたることは私の滿足とする所であり私は帝國々民代表の府としてこの場合政府が敢然としてこの態度に出づることに廟議一決せられたることを喜ぶものである、然しながら事件は今何ほ進行中で聯盟脫退の決意は總てを解決した次第ではない、問題は寧ろ今後にある、國民も亦共に具に政府の方針を支持することを確信する、政府に於ては堅忍不拔の意氣を以つてその方針に邁進されると共に上聖旨に副ひ奉ると國民の期待に背かざるやう致さるべきであるが若し政府の執つた方針に對し反對の意志を表示する者ある場合は院議を明かならしむる爲めあらためて本議案を提出する積りである

會議總會は　勸告案に

會議を繼續するが勸告案によるか交涉委員會を設けるか乃至は十九ケ國委員會の如き特別委員會を構成するか、何れかの方法により、事件の審理觀察を續ける必要ありと言ふに意見一致し、更に之が達成の爲めドラモンド事務總長の意見を聽くに決し午前一時散會した

治法撤廢其他協議　領事會議第四日

在滿領事會議第四日は二十三日午前九時半より大使館事務室に開催さるるが午前中の出席者は會議第一日と同樣大使大使館員領事館員にして協議事項左の如くである

一、情報關係事務
一、滿洲國の經濟發展狀況
一、門戶開放機會均等主義を嚴守してゐる實情を世界に知らしむること
一、職業紹介所設置に關する件
一、通商關係事務報告に關する件

而して午後は午前中の出席者の外司法領事軍法務部員、關東廳法院關係官も加はり左記事項を協議すること

一、滿洲國側に於ける新制度創設に伴ひ我國省令館令其他の法規改正等に關する件
一、治外法權撤廢に關する件

林滿鐵總裁　飛行機で東上

(大連廿二日發國通)林滿洲總裁は西脇秘書役帶同二十二日朝六時四十七分周水子飛行場發の旅客機で東上の途に就いた二十三日夕東京着の豫定である

外人の眼に「映じた滿洲國」(七)
首都警察廳　堂脇俊盛譯

皇帝は日本の捕虜に非ず

閣下が皇位を退下せられてから事實上日本の保護下に在られた事柄は日本の爲めに現在閣下が芳しからぬ皇帝の地位に虜にせられて居ると云ふ事を「支那年鑑」の有力記者シー、ピー、イーの勳賞を有するエツチ、ヂー、ダブリウ、ウツドヘツド氏が上海イブニングポストアンドマーキユリー紙の時評中に否認喝破して居るのである

「閣下が日本の庇護を受けて居られた間に此の好期を促へて日本公使館の安息所を求められたのは誠に自然のことである、閣下の自由束縛が國民軍護衛下に北京の周圍に移動を許可する範圍にまで縮減されるに至つた時に閣下の英人家庭教師サー、レヂナルド、ヂヨンストン氏は策略に閣下を公使館地帶に入れて了ふと考へ閣下の護衛兵士達に護衛の必要の是れ以上に無き事を通告したのである、閣下は獨逸旅館に投宿して居られ其の間逃亡の明を見出す爲めに見える努力を拂はれたのである、最初に選んだのが英國公使館であつた其の識でも皇帝の使用に堪える建築物の無いと云ふ理由が判然したので家庭教師は日本公使館に相談した處、各大公使館境內に閣下の自由に使用し得られる小建物を造作する事に同意を與へて吳れたのである、皇帝が天津日本租界へ逃げ延びる樣使嗾せられたことは眞を究めた事では無いのである、日本公使館から逃げ出す樣な事は全く驚異的と云つても良い位の事柄で冒險的の事であつたのである、何故かと云へば皇帝は以前汽車旅行をせられた事けないのである、天津に三等列車で逃亡せられる時には二人の滿玉祥の兵隊に護衛せられて行かれたのである、閣下の逃亡が知れるや天津の日本領事館當局は手配通知に接して閣下の到着と同時に面會してホテルに保護投宿せしめたのである、皇帝は英國商埠地に少許りの私有土地を持つて居られて、其處に居住せられたいと云ふのが閣下の最初からの意思であられたのである、併し適當なる警衛問題と云ふ事に關して難問題が起きて來たので日本租界に其の居住を決定するに至つたのは丁度其の時からである

閣下を「支那の責任者」として記する事は殘方もない開違である、閣下の署名中に「廢帝の宣言」とあるのは帝室と共和國間に嚴肅なる約束を表現したのであるの此の約束の何れの條項と雖もとれが皇帝と云ふ點に關する限りに於ては甚だ暴逆極まるものである、尊稱は剝奪せられ私有財產は沒收せられ來るべき筈の年金は來らず御陵は保護されるか共和國軍隊に依つて銃火を見舞はれ荒されて居るのである、次代の王位に就くべき人が斯の如き待遇を受けて居る、以上以前に於ては支配した事ある政府及國民に忠君愛國の精神を見出させ樣とする事は誠に甚だ無理の要求と云はねばならない」

廿四日の主要議題　熱河討伐に關し

(ジユネーヴ二十一日發國通)二十四日の總會は午前十時半から開會の豫定だが、多分午

駐日支那公使の　引き揚げ意見表明

(上海廿一日發國通)國民政府外交委員長伍朝樞は廿一日駐日支那公使の引揚げ意見を表明した

人事往來

▲山の內中將(滿鐵顧問)二十一日午後七時五十分驛着にて來京滿洲屋旅館
▲井上乙彥氏(陸軍工兵大佐)同上、大和旅館
▲千葉宗正(警部)二十三日午前九時發新任地撫順へ赴任
▲高橋重利警部、二十三日午後零時半發新任地泥家屯へ
▲原田一雄警部補、同上

「早く大きくなつて聯盟をやつつけます」
きのふ西廣場小學校で試みた小學校兒童への關心

聯盟脫退の最後的決議が一度傳るや第二の世界戰爭を豫想した全國民はあげてこれが成り行きを注視し毎日の新聞紙上に、ラヂオに時々刻々さして報ぜられる情報に切齒扼腕して居るが、この危機をはらんだ未曾有の重大時局に對し小國民として今國家に在る

無邪氣な小學兒童は果して如何なる感想を持つてゐるか、西廣場小學校で五年以上の上級生徒へ二十一日この難問題を課した處、こむつかしい時局問題等てんで無關心であらうと思はれる兒童の可愛い赤唇からはさばしる答は意外聞くも涙ぐましい愛國の至誠の溢れた言葉であつた

聯盟が日本をいじめるから私達は一日も早く大きくなつて日本の爲滿洲の爲に意地の惡い聯盟をやつつけてやります

この明答に瀨川校長初め職員一同は感激の熱涙を浮べたまゝ暫く言葉も出なかつた

『誠に心強く感ずる次第です』
―瀨川西廣場校長談―

おについて瀨川校長は語る
昨今の話題の中心となつてゐるだけに家庭の話ラヂオの放送等でおぼろげながらも日本の現狀を知つて居る

樣です、最も學校でもラヂオの放送の時はいちく板に記して說明はしますが聯盟脫退等の意味は未だ良くわからない樣です、然し

未だぐわんぜない兒童にこれだけの答が出來た事は哀心非常に心強くも又嬉しくてなりません

すんでの處を二巡査が救助
きのふスケート場で

二十一日午前十一時四十分頃西公園スケート場でスケート練習中の室町小學校兒童竹林武士（一二）が誤つて顚倒し人事不省に陷つたが、附近の者は子供ゆへ介抱のすべもなく

右騷を演じてゐた處祈柄巡査中の新京署山長、財前兩巡査が發見し同署サイドカーで直に祝町二丁目槇小兒科醫院に收容應急手當を加へ一命を救助した

警察官學校を刷新統一計畫

滿洲國警察官學校は從來各省毎に獨立經營されてゐたが、今回民政部警務司では新京を中心として之が統一化を畫策

の長日月を要し緊急に必要なる警察官を得るに適當ならざるに鑑み各省に一般警察官練習所を設け短期に下級警察吏を養成し別に新京には中央警察官高等學校を置き各省より優秀者を集め此所を警察官の登龍門とする

陸海兩宮殿下が陛下に委曲御上奏

〔東京二十一日發國通〕閑院參謀總長伏見軍令部長兩宮殿下は二十一日午後三時打揃つて參內、陛下に御對面、關東軍並に遣外艦隊現況、熱河方面の委曲を奏上御下問に奉答遊ばされた

し建國治安維持の警備を盡けることゝなつた、即ち今日迄の警察學校が修了年限三ケ年

警察官の徽章が變はる

民政部警務司では、兼ねて警察官の徽章を改變することゝなり廣く之が意匠を募集中の所、今回大連の服部澄雄氏の新興の滿洲を表象せるデザインが當選と決定、當局は目下盛んに徽章作製を急がせてゐる

之によつて新國家成立以來三

朝鮮警察官講習生來京

朝鮮總督府警察官講習生滿洲旅行團一行四十六名は來る三月二日午後四時來京直に市內

民主義を表徵せる現在の警察徽章は全滿より近く影を消す事となつた

阿片小賣人も近日中に發表
嚴選に嚴選の末決定

阿片專賣法實施に伴ふ卸賣人の指定は既報の如くいよく發表されたがこれは指定出願者は定員僅かに十名に對し昨年十二月三十一日の締切當日までに全滿を通じ九十三名第一第二志望を併せ延人員實に百八十名の多數に達したが滿洲國財政部ではこれが人選に當つては王道政治に基き嚴重公正、他日悔いを殘さぬた

め最初の指定卸賣人として一萬ならぬ苦心の結果、警察の身元調查は勿論本人の性行その他についても萬遺憾なく審查を遂げ、最後に阿片專賣籌備委員會に諮つて正式に決定されそれぐ指定證が發せられるに至つたがその間裏面にはいろくの運動が行はれたものの如く日本人にして滿洲人を矢面に立てゝ影からコ

ツソリ醜い運動に出たものも尠くなかつた模樣である、一方小賣人の指定は新京では首都警察總その他の各地は各署においてそれぐ決定、近日中に發表されることになつてゐるがこゝに全く正式に陣容整ひ阿片專賣の實施は不日行はれることになつてゐる

聯盟をやつつけて

各所の見學をなし二日午前八時四十分發で哈爾賓に向ひ四日午後三時三十五分再び來京同日四時半の列車にて大連に向ふ豫定である

巡查分限令三月一日から

〔東京廿一日發國通〕院內持廻り閣議に於て巡查分限令制定の件其他を決定し、上奏御裁可を經て三月一日から實施となつた

蘇聯の北滿に於ける潛行運動激化

〔チチハル廿一日發國通〕皇軍がホロンバイルに進出以來ソヴイエート、ロシアの對滿洲神經が可成り尖銳化し、東支西部沿線各地にはゲ、ペ、ウの潛入するもの漸次多くハイラルの如きその數二十餘名に達し、又鐵道從業員も過激分子を增加して緩い連中を引揚げさせてゐる、一方先に黑

河ハ我特務機關新設されるや黑河の蘇聯邦官民は非常に緊張し日員を增加してその行動を監視する如き態度を示したが今回更にチチハル總領事にシラムカン（ダーニン、ニコライイワヴイツチ）を派遣して居るが今回の活動は各方面より注目されてゐる

貧者の一燈―
哀れな勞働者の身が時局後援會へポンと二十圓
◇……入船町の四元篤志さん

貧弱の一燈―浮つ調子な世相が一部識者の寒心をかつてゐる今日此ごろ、これはまた美しい人の心が當局者を感激せしめてゐる獻金美談がある、料亭にカフエーに或はダンス場に踊り狂ふ彼等に取つて一般の精凉劑ともなれば幸ひである

新京市內入船町四丁目十一番地四元篤志さんは國際運輸會に勤めてゐる一勞働者だが每日の收入は一家五人を支へるには充分とはいへない、それに妻女は數年來の長患ひで、今は足腰も立たぬ哀れな身であるかうして常に財政不如意にも拘らず、時局に感奮して金二十圓也を此のほど新京時局後援會へポンと投出した皇

軍の慰問、歡迎その他時局萬端の資金に一部としては用立てて貰ひ度いといふのである、氏の長女は目下室町小學校に在學中で前年善行を以て表彰されたことがあり、親子揃つて誠に感心な人かうした篤志家の續出によつて非常日本の基礎がいよく堅くなるであらうと當局も意を强うしてゐる

鹽務行政刷新
財政部の重要會議

滿洲國財政部では二十二日から三日間に亘つて鹽務會議が開かれるが、同會議は鹽務行政の改善刷新を圖るべく私鹽の嚴重取締り、鹽税の低減、鹽業者の金融、產鹽の助長、日本への輸出鹽その他についての鹽務行政上における悉ゆる重要問題についての討議が行

はれ、その結果によつて滿洲國としての鹽務行政方針が確立さるべく、關係業者に取つては重要視されるものであり、會議には營口鹽務署およぴ吉黑榷運署から正副署長總務科長その他多數列席して奇憚なく意見を披瀝されることゝなつてゐる

蘇聯內の暴動說
駐奉天領事否定

〔奉天廿一日發國通〕國內の物資殊に食糧品の不足其極に達せるため、ソヴイエット聯邦各地に暴動起れりとの報に接し、當地ソヴイエット聯邦

朝鮮方面行き直通列車運行か
日下鐵道事務所で研究中
內鮮旅客へ大福音

新京鐵道事務所旅客係では大連本社の指令によつて奉天以北の旅客數を各列車別にそれぐ詳細に亘つての調査を開始してゐるが、これは滿洲の首都となつた新京へ續々押寄せて來る內地、朝鮮方面

からの人々が日一日と激增しつゝあるので、この調査の結果によつてはこれ等旅客の便宜をはかる爲現在奉天で乘替て居る列車を直通車と變更すべく計畫中で直通方法についてはまだ具體的な案も出來て

ゐないが釜山から新京迄の直通させるか、又は奉天にて新京行の列車のみを其儘連結するかするのであらうが何れにもせよ旅客に便宜を與へるべく考究中である

領事館では此の事實を否定し左の如く語る
目下の所領土內は食糧なども豐富であり、內亂の起る

譯はない從つて反革命的氣運の萌しは考へられぬ、これは白系露人の宣傳であらう

尾崎行雄氏に上陸反對の決議文を突付く

〔神戶廿一日發國通〕尾崎行雄氏は照國丸で午前八時四十分入港したが、壯漢二名が上陸反對の決議文を出し、國賊呼はりをして飛びかゝつたが、無事十時半上陸した、然し午後再び歸船今夜は船內に一泊し、明日橫濱に向ふ筈

湯玉麟の傍系軍餘糧堡に進出

〔遼陽廿一日發國通〕湯玉麟の傍系軍は熱河省境を越えて餘糧堡附近に進出し李成の蒙邊軍約一千は李海青軍と共に遼遼攻擊の機を窺ひつゝある

ものゝ如く總勢約二千迫擊砲重輕機關銃多數を有し尙承德より續々武器彈藥を前線に向け送中である

萬福麟愈よ前線に出動す
學良軍總指揮の爲

〔北平廿一日發國通〕熱河方面の形勢逼迫と共に支那軍再び行動を開始し、第三集團軍總司令萬福麟は關內學良軍總指揮のため廿日衛兵一百を率ゐて通州に出向いた、同時に

西苑の第八旅は雷莊に、又南苑の步兵第六旅は熱河方面へ出動を開始した、北平方面においては糧食、石炭、人夫、馬車等の徵發益々旺んに行はれ、大恐慌を來しつゝある

熱河軍の內紛益々惡化

〔錦州廿一日發國通〕張學良は熱河軍の內部の不統制を心配して宋子文等を同行し承德に出かけたが湯玉麟と朱霽青との不和が特に甚しく朱霽青派が「湯玉麟が地盤維持に專念するも既に人民の信望を失

墜しをる點」を指摘すれば湯派は「朱派は敎國軍に藉口して莫大の資金は騙取せり」と罵倒して下らず朱慶瀾もその調停に努めつゝあるも兩派の關係は日を逐ふて惡化してゐる

溝幇子附近で敵匪鐵橋破壞を企つ

〔錦州廿一日發國通〕奉山線溝幇子羊圈子間に相當有力なる敵出沒鐵橋破壞を企てつゝありとの急報に接し盤山警備

の重任にある我が第○○隊は本二十一日午前一時溝幇子發羊圈子方面に向け急行中溝幇子の西方二粁の地點に差しかゝるや突如數百の敵暗夜に乘じ我に攻擊を開始した○隊は直ちにこれに應戰激戰の結果敵に多大の損害を與へこれを潰走せしめ鐵橋爆破を未然に防ぐ事を得たが此の戰鬪で我兵一名名譽の戰死を遂げた

次期大統領狙擊犯人
八年を宣告さる

〔マイアミ「フロリダ州」廿日發國通〕十五日ルーズヴエルト次期大統領、シカゴ市長サーマツク氏を狙擊した犯人ザンガラは廿日殺人未遂罪として八年の刑を宣告された

吉敦線黃泥河驛に匪賊

昨日午後五時三十五分吉敦線黃泥河驛に於て第一列車が定時刻出發後匪賊數十名驛內に現はれ、鐵路警務團詰所に在りし鐵砲○挺を掠奪し、急遽兩方に向つて逃走したが、其他被害はなし

新京署出入記者高橋警部送別宴

新京署出入記者還藤、原（新京日報）石黑、齋藤（大滿蒙）宮元（國通）香山、德永（新京日日）は二十一日午後六時から精養軒に范家屯署長に榮轉の高橋警部を招待し送別宴を張つた、高橋警部を初め、各自の隱藝があり盛會裡に午後九時散會した

藤枝巡查令息死去

新京總領事館警察署勤務藤枝巡查令息了（四つ）さんは豫て病氣加療中の處藥石効なく二十一日午後四時二十分逝去した、葬儀は二十二日午後四時自宅出棺の豫定

慰安巡映延期

滿鐵の兒童慰安巡映は二十三四兩日、室町、大廣場兩小學校で開催の豫定のところ派遣員急病のため無期延期となつた

吉凶禍福

▷新京曙町四丁目九番地自服

商會森政嘉氏次女貞子、二月九日午後十二時二十五分出生

花街　べにすゞめ

これは富士町の料亭ちどりの三羽烏、三羽烏はおかしいな小さくて可愛らしい、さうだ三羽べにすゞめの一羽、イヤ三人舞妓　うちの一人つる子でゝります、柄は一番大きいやうに見へますが、たしか年は下だつたと思ひます、千鳥のおかみさんの姪で、長春で育つた子です
×
每朝カバンを肩に學校通ひをしてゐたのを知つて居ります

それから、うちの舞妓たちが花かんざし長い袖だらりの帶それが羨ましくてたまらず、あたいも舞妓になりたいとしきりにせがみましたが、義務敎育をすませる迄はといふのでゆるされませんでしたのです
×
それから、その後、學校はすんだので、彼女の希望がかなひ、花かんざし、長いたもとだらりの帶といふことゝなつたのであります、尤も、好きなことですから、それまでに學課の復習はなまけても、舞妓としてのお稽古は怠らなかつたらしいのであります

ラジオ

二十三日（木）奉天
奉天后五、〇〇レコード錢行金銀相場商業通信社
新京后五、二〇演藝
奉天后五、四〇講演協和會ト滿洲國協和會羅正鈞
東京后六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯
新京后六、二〇時事解說（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース
新京后七、三〇ニュース（英語）
新京后七、四五ニュース（露西亞語）
新京后八、〇〇ニュース（朝鮮語）
東京后八、一五ニュース氣象豫報放送局編輯及プログラム豫告
新京后八、三一講演滿洲ト農業（內地向）外務部々員飯林技師岸良一
東京后八、三〇時報
東京后八、四五ニユース東京中央放送局編輯

凄艶紅涙双

（二一四）

（續上編） 鈴木彦次郎作 飛鳥久緒畫

――でも、これから、先はもう水もあふれてゐない、全軍、とゝろ嫌はず、身體中にはねとんだ泥をはらひながらやつと、胸なで下した矢さきドドドド、ドドツ！

激しい銃聲は、沼の西にあたつて、突如鳴りひびいた。

「すわ、發見されたか！」

全軍、おもはずぎよツとして、一齊に、地に伏した。

だが、鳴りを靜めること、暫らく――銃聲は次第に遠ざかつて、やがて、暗に消えていつた。

――これぞ、今町方面へすゝむ敵の本隊が、威勢づけに發砲しただけであつて、別に昇岡勢の潜行をしつて、射撃したのではなかつた。

「おゝ、危かつた、すんでの事に望みを絶ち切られるところだつた、何せ四方みな敵の陣營、一同血氣にはやつて、立騒いでは事を仕損じるぞ、心して、ひそかにすゝめ」

蒼龍窟は、虎口を脱した思ひで全軍に厳しく注意をうながした。

折しも、雲間を破つて、皓々と照る十四日の月、――茫たる八月沖の全景は、銀色に輝いて、そよぐ葉末、湧きたつ小波、はては前驅の戰友の顔立ちまで、はつきり見えるほどな明るさ。

かくては、一層、敵に悟られる恐れあり、と、隊士、互ひに相戒め身をかゞめ、足音しのばせ、一歩〳〵、前進したゆくこと十數町、――幸にも月は雲にかくれて、四圍は眞の闇。

最先頭の松井、一條、しめたとほくそ笑んでいつと草むらから首。

つきだせば、行手にちら〳〵と燃ゆるかがり火。あとつひに決死の精鋭は、困苦を冒し今や最岡の前衛、宮下に於ける西軍のとりでに近づいたであろ、もうかゞり火のはぜる音、西軍詭の吟聲も聞えて、守兵の樣子は、手にとるやうにわかる、松井は、激しい感動に、武者震ひしながらさゝやいた。

「おい、一條、俺はもつたまらぬ、一氣に、斬り込まうではないか。」

「待て！せいてはならぬ、河井先生の命が傳はるまで、靜かにまたう」

甲子松は、はやる策之進を制して、共に藪かげに身をひそめた。

まつこと、すでに半刻――やがて、進軍の令は、しのびやかに傳達された。

「よし松井俺につゞけッ！」

いひざま、素早い甲子松、愛刀を閣一閃かし、突如、敵壘におどり込んだ。つゞく決死の數十名俄然、守兵、偷安の夢は破れた。

もとより、豫期せぬ敵の襲來、味方の大半は、既に進軍して、こゝを守るは、新來の長州振武隊の一部――何條、必死の侵入軍に敵すべき、周章狼狽、亂射しながら[illegible]

昇岡勢は、直ちにとりでに火を放ち、勢ひに乗つて追まくる同時にかねての手筈通り、栃尾の古城趾に、合圖の狼煙が上れ、田井、押切り稲井の同盟軍は、一齊に砲火をひら

愈々、北越健兒、決死の總攻撃は、開始された。

焰炎天に漲り、喊聲地に震ひ、寂莫のそ地、今しも破れて、一大修羅場――。

蒼龍窟は、千本木隊を宮下に止めて、浦瀬口の敵に備へしめ、自から全軍を率ひて吶喊進撃一撃、鷄貝、小曾倉、根川崎をぬき、破竹の勢ひをもつて長岡にせまつた。

滿洲國販賣所 **金龍洋行**
有田燒 香蘭燒 日田漆器 東洋陶器
新京吉野町二丁目 入横胡同 電話2755

二月二十三日 舊正月廿九日 木曜 庚申 大安 破 奎宿

●一白の人 一歩は一歩と目的の地に近づきつゝある日 乙と丙と亥が吉
●二黒の人 他の欺瞞に陥り易き日商談殊に注意すべし 辛と壬と子が吉
●三碧の人 我意を張らず心を緩やかに持ちて安泰なり 申と亥と癸が吉
●四緑の人 利を見たらば退くべし其上慾張らば損あり 丁と申と亥が吉
●五黄の人 自力にて捗らぬとも他力を頼まず進むべし 丙と辛と壬が吉
●六白の人 從來通りの業務に親しむが安全新事移轉等凶 乙と丙と庚が吉
●七赤の人 福祿薄くとも悲觀するな時機の來るを待て 甲と丁と辛が吉
●八白の人 富貴榮達を夕みて空想に終る甲斐の無き日 丁と辛と丑が吉
●九紫の人 運途中吉なれば大事さへ企てずば過ち無し 亥と壬と癸が吉

大阪商船出帆
門司、神戸（大阪）行（毎偶數日午前十時出帆）
亞米利加丸 二月廿四日
うらる丸 二月廿六日
香港丸 三月二日
うすりい丸 三月四日
ばいかる丸 三月六日
はるびん丸 三月十二日
●切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）
●專屬荷扱所
大阪商船株式會社 大連支店 電話四三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電二二一六番

印刷機械及材料 各種印刷と製本 卸小賣 **北原紙店** 電話二一四一・二四〇一・三七三九

羽根蒲團の購買會を初めました
御加入を願ひます
御一報次第お伺ひ申ます
吉野町二丁目（北滿旅館南）
羽根蒲團製作販賣 **山本商店** 取次電話二三三一番

商號變更公告
株式會社長春實業銀行
弊行儀本日ヨリ商號ヲ左記ノ通リ變更致シ候ニ付此段公告候也
昭和八年二月十六日
左記
新京三笠町三丁目八番地
新商號 株式會社 **新京銀行** 電話二〇三二・二九四四番
追而通帳、小切手等ハ在來ノモノ御使用差支無之候間為念申添候

御藥の御用は是非御電話にて
電話 二四七六番 二六〇二番
吉野町二丁目一番地 **東亞號藥房**

御待ち兼で「御座いました」
最新流行形荷揃 各種フエルト、ゴム底
新京吉野町二丁目一四
履物各種 ㊂ **小林履物店** 電話二三四四番
輸入組合加盟店

各種 **撫順炭**
指定販賣 **泰利號**
新京日本橋詰 電話二三一六九番 二七六〇番

新學期御入學 贈答品は
◎◎◎◎ **森野商店**に御用命下さい 電二二五一番

御待チシ居マス
水炊・スキ燒・鍋物類
明なかホールと 刷新なるサービス嬢が
カフエー **ミカサ** 電話二四六八番

御旅行者及一般の御便宜を計る爲左記取扱を致しますから御利用願ひます
一、新京驛發送手荷物、小荷物の蒐集及代理託送
一、同到着驛留小荷物代理引取及配達
右一切迅速確實に取扱ひ致しますから御用の節は電話か葉書にて左記に申込み下さい
新京中央通十一番地 **谷口商會**（通濟運輸公司） 電話三二一四一番
尚申込は小荷物扱所（社内二二四番）にされても宜敷うムいます

石炭 **松茂洋行** 電話二〇四二・二五三七・二六三二

盛京時報
創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歴史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、斷然之の王座を佔む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也
本社 奉天 支社 六國、新京、哈爾賓、大連

石炭 **仁和洋行** 電話三二五八・四七二

着荷案内
熊岳城産の紅玉リンゴ（百目金十二錢） 箱入のモノモアリマス 皆さま
季節に應じ ふとん綿、たんぜん綿 廉格販賣致し居ます
蓬萊町一丁目 **調辨所** 電話二五三〇・二七三番

御料理 **梅月** 新京三笠町三丁目 電話七二八四番

御料理 **吾妻** 城内西五馬路

美人揃ひの **美人樓** キヤピタルダンスホール前 富士町二丁目二十六

御料理 **泰東** 新築の温い部屋で藝妓一同御待ち申上げてゐます、是非一度御出向きを願上ます 富士町二丁目 電話二四七四番

御料理 會席 **大吉** 水崎よし 電話三一五九番

會席 御料理 **蔘延家** 富士町一丁目 電話二五〇七番

會席 御料理 **曾我廼家** 三笠町二丁目 電話二五八八番

株式會社 **國際運輸** 新京支店
營業科目 一、海陸運送取扱營業 二、倉庫及金融 三、代辨及保證 四、勞力請負 五、委託販賣 六、前各項關係一切業務
電話
二五〇四 支店長支店長代理
二九三一 流務係
二三〇一 倉庫金融係
二一三三 船積係
二三四六 東支線營業係
二六六五 經理係
二四八五 小口發送（兩國吉長六敦）市内運送
三〇五九 專用線荷役所
二一三八 專用線荷扱所
二六三三 日ノ出町倉庫
二五一〇 馬車部
三三九一 華工事務所
二一一五 寛城子荷役所
二一九六 支店長宅
三三七九 支店長代理宅
三一七六 作業係主任宅
二七四三

三井物産株式會社 **新京出張所**
本店 東京日本橋區室町二丁目一番地
滿洲支店 大連市山縣通一八二番地
資本金 一億圓（全額拂込濟）
電話 二六〇 所長席 三八四 賣買 三八八 勘定出納 二〇一二 保險、機械、庶務 二四四四 保險 二七六三 三井倉庫 三四六〇 所長社宅 三五八 社員社宅
取扱品目 穀物、穀粉、大豆其他豆類、大豆粕其他粕類、豆油其他油脂類、石炭、鐵道用品、電氣其他機械類一般、砂糖、セメント、燐寸、紙、麻袋、生糸、金物、木材、化學肥料、工業藥品、食料品、其他雜品、人絹織物

民刑事訴訟事件 法律顧問及鑑定 貸地貸家の管理 諸契約書の作成
辯護士 **黑田實法律事務所** 新京ビルデング二階十九號

辯護士 **沼田勇** 吉野町一丁目二番地 電話三七二八番

內地三大都市流行仕立上り 東京小林甚太郎 大連三島屋
吉野町二丁目北滿旅館横入 **柳屋衣服店** 電話三一五二番
洋服店製品販賣所

營業種目
東亞ペイント會社製品
セメント防水劑「ウオータイト」
膠着劑菱光グリユー
日進式メタルラス類
川崎・工場製鐵網類
ヤマト・コントローラー
內外洋服地並附屬品卸
新京日本橋通北五番地（電話三七三一番）
加藤洋行新京支店
本店 天津、支店 大連、奉天、大阪、東京

（大正九年十二月十四日第三種郵便物認可）

新京日日新聞

定價　一部金三錢　一ヶ月金八十錢　郵稅一ヶ月金十五錢
發行所　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷啓二

總會に提出された我が陳述書の内容
二十一日午後六時公表さる
眞に委曲を盡す

〔ジュネーヴ廿二日發國通〕日本代表部は報告書草案に對する日本の意見を闡明した長文の聲明書をイーマンス議長とドラモンド總長に提出し、且つ各主要國代表に手交すると共に、廿一日午後六時之を一般に公表したが、その大要は左の通りである

一、十九ヶ國委員會が總會に提出した報告書は同意し得ざるを遺憾とする、右報告はリットン報告より抜萃されて居るが、リットン報告は日本政府が既に誤謬を指摘した意見書を發表したところである

一、日支紛爭は主として支那に有力な中央政府の存在せざるに起因するもので、支那の常軌を逸した國民黨や國民政府の排外特に排日運動を、滿洲に於ける支那官吏と半官團体の執拗且再三の煽動行爲に依り、九月十八日の不祥事件を招來した譯である、滿洲が支那の名義上の主權から分離したことは日本政府の意見でも希望でもなかつたもので、聯盟として十分事實を熟知したなら聯盟は恐らく日本を責め不幸な結果を齎らすやうな輕卒なことに出でなかつたらう、その爲め大部分は聯盟の責任に歸する

一、昨年九月十五日以後の滿洲に於ける我行動は議定書に基き居り、右議定書の取消等は到底考慮し難きもので此態度は啻に滿洲のためのみならず極東平和確立上の唯一の道と確信する

一、日本の確言する事實の經過につき支那も日本と和協に至るを希望すべきと共にそれが又支那の利益たる事を主張する

一、日本の對滿策は同國秩序と外敵侵入に對し治安維持を援助するにある、報告案を受諾するは東亞の亂を釀成する事となり、却つて禍亂の源となならう、日本は聯盟規約、不戰條約、九國條約の眞精神を遵守する事勿論であるが各條約は一般原則を規定すのみで、之が適用は事態に應じて考慮すべきである

一、滿洲國は新政府にて財政、鐵道、行政、商工業に於て非常な進歩をなせり、張學良の殘兵殆ど討伐され熱河のみが抵抗し居る

一、熱河省は滿洲國の一部である、張學良軍が長城內に撤退すれば軍事行動は不必要だが總會に於ける報告書採擇は學良の態度を愈々硬化させ、撤兵を困難ならしめ事態を愈々擴大させるだらう

一、（イ）報告草案はリットン報告の原則に據ることを提議してゐるが、右原則は支那に鞏固な中央政府がなくでは實行出來ぬと言明してあり而も今日かゝる政府存在し居らず、又近き將來に於ても存立の見込なし

（ロ）報告草案は滿洲の主權は支那に屬すと述べて居るか支那は滿洲王朝の時代を除き、滿洲を維持し支配してゐない

（ハ）日本軍の撤退に就てはかくの如き廣汎な領土が憲兵隊にて保障されず、その結果は匪賊及び學良軍が跳梁して無政府化するがこれに對し責任を負へるか

（ニ）紛爭解決を援助することの委員會に米露を招請する聯盟規約の根據から反對する

（ホ）最後に報告草案は滿洲政權の維持と承認に反對し聯盟國その他に對し不承認を提議してゐるが、斯くの如きは越權行爲で平和に依存する國際友誼と親善關係を阻害するだらう

一、報告書草案は支那を刺戟し、平和の提議を拒絶させ解決を廻避させ、その結果極東國民の安寧を危殆ならしめるだらう

一、日本は極東治安維持に責任を有し、滿洲國の發達援助と同時に支那とは好意と忍耐とを以て友好關係を結ばんとして居る

一、結論に於て代表部は聯盟小國の取らんとして居る行動の重大性につき決省を喚起する報告草案の基礎となつて居るリットン委員會は滿洲に六週間、支那には十五週間、他の大部分を北平に過したもので、多くの稱讚すべき點あるも、最後的判決の基礎とし得ぬと信ずるもので、代表部は總會が決定を爲す以前に再考せん事を訴へるものだ

各國大公使に我態度を說明

〔東京廿二日發國通〕內田外相は近く在京の主要國大公使を招致し北支に對する日本の意向を說明し諒解を求むる筈

十九國委員會
引續き日支紛爭監視
可能性ありと見らる

〔ジュネーヴ廿一日發國通〕聯盟小國代表は十九國委員會に對する彼等の執る可き態度につき畫策密議したが、確聞するに彼等は全員一致で

一、總會は十九國委員會の勸告付報告書を採擇した後と雖も休會せぬ事

一、十九國會議を日支紛爭の發展特に熱河問題を監視する爲に擴縮する權能を付與さる可きこと

を申合せた、午前十一時頃右決議しイーマンス議長は出席しなかつた、小國側がかゝる策動をなし彼等の主張を固守し居る爲、イーマンス議長は本日午後の總會宣言の內に於て十九國委員會が續行して日支紛爭成行を審重に監視すべき旨の趣旨を承認する可能性ありと見らるゝに至つた、記者が確聞する所によるとエヂン代表は右小國側の總會解散阻止計畫の對策につき本國政府と打合中である

熱河の風雲 急を告ぐるの秋
僞勇軍の一角崩る
一大勢力劉桂堂歸順を通電
熱河軍に大龜裂か

=移動=　昨年六月まで山東警備旅長として山東省高唐に居たが韓復榘と不和を生じ河南、山西、察哈爾を經て熱河省魯北に移動し大小數回の實戰を交へ、高唐出發當時八千余の部下が今や一萬五千を算するに至り、熱河僞勇軍中の出色の強兵で一大勢力を爲しつゝあつた劉桂堂は最近張學良一派の不正不義に愛憎を盡かしつゝあつた際、適々滿洲國の善政の實情を知り其王道政治を謳歌し遂に歸順を決意し二十日附各方面へ左の如き通電を發し、直に反張行動を開始することゝなつた、何しろ通信機關の不備な熱河省のことゝてこの通電は未だ全般に行き亘つて居ないが、滿洲國に對しては特に特使夏子明を特派して來た

=一今や=　熱河軍將領中には滿洲國の王道政治に憧れて居るものは獨りこの劉桂堂はかりでなく、只管機會を覗つて歸順の意を懷く將領が尠くないからこの劉桂堂の歸順を動機として歸順するもの續出し熱河軍に一大龜裂を出ずるであらう

通電

竊に惟ふに德政施行せらるれば率土歸服し、義聲四方に溢るれば萬民共に棄てん、是を以て建國垂化は廣德崇賢以て國を安んじ民を寧んずるを期し黑虐を除くを志すべきなり我が滿洲國は天と民に順應し地を啓き建國し、滅絶の域に王道を闡明し生民を塗炭のより救濟し內興國の詩願に順ひ外東隣の援助に資し光明磊落として正義維れ遵ひ和平の福祉を奠め世界の樂土を作り萬邦と協和し黎庶維れ明和せんとするは已に耳目に明かなり然るに賊徒張學良は天理に背逆し實に滿洲を蠶食し而も慚愧自滅して以て天下に謝せざるのみならず更に厚顏にも猖獗し、國民を殘害し、赤化を引入れ人民に殃し異類を借助して國を盗まんとす、熱河山川地形の險要を藉つて義勇軍を嘯聚し、流殘者の淵藪と爲し、其道路の險隘を藉つて攻守の具と爲し年來の暴虐たるや計る能はざる也、城郭は悉く廢墟となり生民は溝壑に轉墜す、斯くして必ずや天下の民を誅

〔中略不明〕畫・隱り世に潛みて決さなるんと欲するものなり。桂堂等爾きに比賊膽を受け義されて義勇軍となり衆を率ゐて千里を來り滿蒙を治せせんとしたりしに境內に入り其治化を窺ふに美明にして四野謳歌し德政は能く施され、遠近悔まり無し。王道顯然として化育悅服し樂土に德澤を蒙らん事を願ふに至れり翻つて未だ來らざる同胞を思ふに、誰か父母妻子の無からん、誰か生を好み死を惡まざらん、然るに依然として吊され或は水火に責められつつ兇殘なる壓害に供せられつつあり、同じく人倫にして聲氣相求むる種族なるに[illegible]威共なるは同[illegible]同胞族の[illegible]を共にするなるのみならず凡そ血氣を有する者俱に劍を按して立ち元兇を滅すべきなり、而して此間生死の關する所未だ列國の同情を受けず、洵に同胞生計の途を絶ち民族自決の理を徹ふものなり。

凡そ同種同文の民族は我が子孫臣民の爲めに計るに轉つて必ずや一致團結して共に生活の途を謀り其根本を圖むるを策すべく、赤化の來つて異類の絶えざるを阻止すべきなり我が善良なる同種民族は互助の意思を以て挾身碎骨するをも義として顧る處あるへからず、若し首を伸へ踵を擧け聯盟の助を待たば守々たる黃種族は遺類なからん。

愛に三軍を率ゐ恭みて天罰を行ひ熱河境內を收服し、我の領土を完成し、匪の巢窟を蕩滅し百姓の禍亂を肅清し、萬世の業を建てんとす。民族の爲榮を爭ふは此の一擧にあり、夫れ時を見て欣然として歸服するならば微子の周に從き、陳平の漢に歸るに倣ひ一視同仁、王道の繁榮を享受すべきなり。

若し鴆毒に耽溺し頑迷に抵抗をなさは王師の至る所、玉石倶に焚かれん、之を悔ゆるも豈其れ及ばんや。

聯盟脱退を歡ぶ
日本國陸海兩相にあて
滿洲國軍政部激勵

滿洲國軍政部では二十二日張總長の名を以て日本の陸海軍兩大臣宛左記電報を發した

國際聯盟が滿洲國の存否を否認せんとするに當り貴國政府が聯盟脱退を決心せられんとするは滿洲國統治時特に國內治安維持上誠に感謝に堪へざる所にして貴政府の誠意に對し萬幅の信頼を繫ぎつつあり堅確なる決意を以て既定方針を貫徹せられんことを熱望す

滿洲國軍政部總長　張景惠

交渉委員會にトルコ、カナダ參加

〔ジュネーヴ廿一日國通〕交渉委員會は既報の如く十國に決したが、更にトルコとカナダが參加することとなつた

學良と南京政府に
熱河から撤兵するやう通告
軍事行動の擴大を防止の爲

〔東京廿二日發國通〕政府は北平及南京にある我が外交機關を通じ我軍事行動擴大を防止する爲支那側に於て熱河より撤兵すべき旨學良並に南京政府に通告した

張海鵬將軍
各方面を歷訪

二十一日夜〇〇に到着した滿洲軍前敵司令張海鵬將軍は本二十二日午前十一時半司令部を出門、熱河軍討伐作戰協議の爲め各方面を歷訪した

反滿熱河軍に
徹底的一擊を加へん
―正義の鐵槌避け難きか―
關東軍司令部幕僚談

熱河問題は今や山雨將に至らんとして風樓に滿つる慨がある、昨今これが對策に緊張を見せてゐる關東軍司令部の某幕僚は軍務繁忙の內にも悠悠たる態度で語る

寒氣と給養不良に搗てゝ加へて各派の內訌で永らくダレ氣味であつた熱河省內の反滿軍が聯盟の空氣を逆用せんとして張學良が宋子文と共に承德に乘込み、湯玉麟と張作相を熱河軍總指揮に任命し、武器彈藥を補給し、全線に亘つて攻擊命令を發したものと見え省境方面の叛徒は急に活氣づき現に塗州近まで潛入して村落を掠奪し錦朝支線上に現はれて鐵橋を破壞し朝陽寺方面では我が警備隊に攻擊を加へたので兩隊附近で小部隊の衝突が起るに至つた、日滿聯合軍の熱河平定は出來得る限り良民を苦しめず叛徒の中にも無智と強制によつて盲動してゐる可愛相な分子が居るので和平的に解決する方策に努めるが、あくまで反逆的敵對行動に出るならば徹底的一擊を加へなければならない遺憾乍ら正義の鐵槌を下して學良一味の迷夢を醒すのも旬日に迫つた樣だ

滿洲國の阿片問題（二）
醫學博士　久保田晴光

先づ其の主義とする所は禁煙である。國民に阿片の吸食を嚴禁し、今後に於ては、從來の如き不幸なる、悲慘なる阿片中毒者の發することを極力防止しやうとするのである而して現在の癮者に對しては當分の間その吸食を許可するのであるが、暫行的にその吸食量を減ぜしめ、遂に自然の域に達せしめ、又然らざる者は之に加療、救濟を加へて以て天壽を全うせしめんとする方針である。

若し今後國民の自覺と、政府の完全なる阿片統制とに依て、之を助くる適當なる社會施設の改良とを以てして、新なる阿片耽溺者の增生を完全に防止し得たりとすれば、今後三十年、四十年乃至五十年の後には、現在の中毒者は死滅することゝなり、國內に癮者の絶滅を期待し得るわけである。事實問題として斯く簡單には行かないかも知れないが、努力の如何に依つては禁煙の目的に著しく接近することは出來ると思ふ。然るに、現在他の地方に於て行はれてゐる樣な阿片政策即ち收益を第一義とする阿片專賣政策を以てしては、今後五十年は愚か、何百年を經ても、その目的は達せられないであらう。

而して之が實施政策として、後に述ぶるが如き政府機關を設け、一方に於ては極力阿片の毒害を高調宣傳して國民を戒め、他方に於ては阿片の生產、取引、配給、需要を完全に統制し、嚴重に取り締るのである。又、傍ら阿片癮者等に關する科學的研究を行ふて戒煙の目的達成を助くる手段とするのである。而して之が統制の概要は原料阿片の生產は特定の地域に於て、特定の耕作者をして之に當らしめる。

生產された阿片は特許の仲買人をして之を收集せしめ、政府に納入せしむる。而して政府は其品質を檢査し、試驗成績に應じて賠償金を定め生阿片納入者に交付す。政府は原料阿片より効力一定せる阿片膏を製造し、特定の卸賣人をして地方分配に當らしめる。卸賣人の下に更に官許の小賣人制度を設け、直接需用者への配給に當らしめ、需用者は政府認可を受けた阿片耽溺者、即ち癮者であれば政府は之に一日の吸食量を記入せる鑑札を交付す。而してこの鑑札は五年每に之を更新し、吸食量暫減の方針をとる。小賣人は受持行政區域內の癮者に對してのみ煙膏の配給を許さるゝも、鑑札面記入の量を超ゆることを許さない。煙館の開設は之を禁ずる。但し現存のものは次第にその數を減ずる方針とする。下に之が簡單なる解說を試みることにしよう。

二、阿片癮者

支那に於ては、阿片の吸食は、吾々は酒や煙草を飲む程度以上に危險な事、惡い事とは考へられて居ないのである殊に下層社會に於て然りであるのみならず、阿片の吸食は保健のために良いことゝへ思ふて居る者がある。實際一家團欒に際して、又、接客の場合に又遊興裡に於て可なり廣く用いられて居る。每日吸食して居るにも拘らず、其量は餘り增しもせず、阿片を買ふ金さへ續けば一生を愉快に天壽を全うする者もある。然し之は寧ろ例外で、一般にはさうは行かない。段々と使用に慣れて來るに從つて其の量を增さなければならぬ樣になるのみならず、阿片は食物と同じ樣な關係となり、之なしには平常の生活を續けることは出來なくなる。今若し急にその吸食を中止すれば、所謂禁止現象又は斷禁症狀と云ふて非常な苦痛を訴へる。之を癮を發すると云ひ、かくの如き程度の阿片耽溺者を癮者と謂ふのである。一旦癮を發すれば如何なる犧牲を拂ふても、又如何なる罪惡を冒しても阿片を手に入れ樣とするあさましい恐ろしい根性となる。同じ嗜好品でありながら、酒や煙草とは違ふて、阿片は恐ろしい魔性毒性を持つて居るからである。

阿片耽溺は日々につのり吸食量を增すに從つて之を買ふ金に窮する樣になるのはお定りである。さうすれば今度は比較的安價で而も效力の多い注射と移つて行くも多い。大體注射の場合には買ふた藥全部は體內に輸入されるのであるが、喫煙の場合には使用した阿片大部分は煙となつてしまふのである。阿片吸飲の效果は主としてその中に含まるゝ阿片鹽基の作用に因るのである。即ち吸煙に際し、火熱のために昇華され、阿片鹽基は肺氣胞から吸收されて藥物學的作用を起すのである。所が吸煙は餘程上手にしても煙膏中に含まるゝ鹽基の大部分は熱のために破壞されて、六分の一しか煙の中に移行しない。而して一小部分は吸滓の中に殘つて居る。故に阿片の吸煙と云ふことは極めて贅澤な方法であり、不經濟なわけである。從つて金に窮すれば吸煙から注射へと移つて行き、モルヒネ、ヘロイン等の癮者となるのである。兎に角斯くして癮者は次第に奈落の底に落ち行き、身體は益々衰弱し家計は益々傾き一家流浪の身となり、遂に路傍にのたれ死する樣になる實に悲慘の極である。住民中にかゝる不健全なる者を多く有する國家の前途は誠に寒心に堪えないものがある。

滿洲軍前敵總司令部
前線近く出動す

熱河討伐前敵總司令張海鵬將軍は幕僚と共に二十一日午後九時元氣一杯で〇〇に到着、前敵總司令部を〇〇に移した〇〇市內は軍馬の往來で雜鬧を極めて居るが、自動車の疾驅、わけても五色の布片を馬尾に付けた勇壯な蒙古騎兵隊の到着で非常な活氣を呈して居る

熱河全線で大掠奪
正規軍と僞勇軍

〔錦州二十二日發國通〕數日來錦義縣に熱河省境から避難して來る者がひきもきらず、これ等避難土人の語るところによれば朝陽を中心として北は下窪、黑魯、南は凌源に亘る線に正規軍と僞勇軍が雲集し日滿軍に先手を打つて攻擊すると豪語し強制的に馬車や人夫を徵發し最後の大掠奪をやつてゐるので命からがら逃げて來たといふので、この報に接した前線の我が將士は極度に緊張し命令一下を待ちつつある

中銀紙幣發行高

滿洲中央銀行紙幣每週平均額は左の通り（二月三日より同九日まで）

項目	金額
發行額	一五一、一三六、一二七圓
準備	八六、四二〇、三三三圓
保證	六四、七一五、八八二圓

傷病兵五十名
大連發原隊に凱旋

〔大連二十二日發國通〕今回內地に轉地療養するため二十日着連大江町衞戍病院に療養中であつた戸村守雄中尉以下五十九名の名譽の傷病兵中五十名は今朝十時出帆の武昌丸で大連市民の熱誠な見送を受け懷しき原隊に向け凱旋の途に就いた、尚殘餘の九名は二十七日凱旋の豫定

人事往來

▲那土廉（吉林鐵道守備隊司令官）二十一日午後四時來京
▲中野砲兵少佐（關東軍司令部附）二十一日午後四時發奉天へ
▲志賀二等主計正（同）同上
▲和田二等主計正（同）同上
▲張敵爾外廿八名（滿洲國特派熱河政治工作人員）二十一日午后十時發南行
▲竹下兵中佐（關東軍司令部附）二十二日午前八時四十分發哈市へ
▲宮川三等主計正（同）同上
▲田村少將（第二十三旅團長）二十二日午前九時發奉天へ
▲田口少佐（步兵第四十聯隊附）二十二日午前八時三十分發吉林へ

天氣と氣象

二十三日の天氣南西の風晴一時曇、二十二日の氣溫最高零下八度一、最低二十一度一

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊　一七片一六分三
同　遠限　一七片[illegible]
紐育銀塊　[illegible]
孟買銀塊　[illegible]
米英爲替　[illegible]
日英爲替　[illegible]
米支爲替　[illegible]
スチール株　[illegible]
アナコンダ株　[illegible]

▲綿花
米棉　三月限　五月限　七月限　十月限　十二月限　一月限　[illegible]
印棉　ベンゴール　ノーロチ　オームラ　[illegible]

各地市場

▲上海標金　[illegible]
▲阪神日英爲替　[illegible]
▲大阪株式　大株　新株　大紡　新紡　[illegible]
▲カルカッタ麻袋　[illegible]
▲大連麻袋　[illegible]

新京市況

大豆現物　高梁　小豆　鈔票　錢鈔　大洋票　國幣　大洋對鈔票　[illegible]

誤配書留郵便の窃取犯人遂に自白
性病に罹り治療費に當てんとし大金にビックリ焼却

新京郵便局集配人米山軍吉が去る六日滿洲旅館止宿の安部菊朗氏宛の書留郵便を大和通下宿屋昭和館事川田彦七方へ誤配し該郵便物の紛失した事件は既報の通りで其の後新京署司法係では犯人は内部に在る者とにらみ當時郵便物を受取つた使用朝鮮人具澤書（二九）を被疑者として引致平林警部補は嚴重な取調を續けてゐたが、二十二日午後に至つて遂に一切を自白した、犯人具は昨年十月頃から前記昭和館に月給廿圓で雇入られ本年一月頃から三笠町朝鮮人料亭批峴館抱酌婦白蓮花と馴染を重ね足繁く通ひつめてゐる中、遂に悪質の性病に感染し、治療費さへなく悶々として不愉快な日を送つてゐた處二月初旬病勢は益々悪化して來たので、遂に堪え兼ね主人川田氏に

＝内情＝を打開け金二圓の治療費を前借して滿鐵病院で施療一時は非常な効果を收めて居たが、僅かの費用では到底徹底的な治療は出來ず、金策に惱んでゐた際たまたま書留郵便の誤配達を受領したのを奇貨とし、これを窃取治療費に當てんものと無斷開封したものである、然るに意外にも千圓といふ多額の小切手が出たので恐れを抱き、これが處分に窮してゐる折柄新京局及新京署の捜索益々嚴しくなつて來たので、犯行の發覺を恐れ七日午前九時頃自宅ボイラーで燒却したものである、なほ具は窃盗罪として一件書類と共に近く總領事館警察へ送致される筈である

昨年度中の鐵道事故
盜難は減つたが其他は激増

新京鐵道事務所庶務係ではかねて昨年度中各係の事故發生數を調査中であつたが此程漸く終了した、事故狀況は左の如くである

旅客車事故發生

件名	件數	前年度比較
盜難	四	二減
規則違反	二	二増
死傷	四	三増
不正乘車	一一	三増
計	二十一	六増

本年度累計一七六件　三五増

荷物事故

件名	件數	前年度比較
不着	六一	四九増
減失	六	六増
減量	一一	三増
破損	七	五増
汚損	二	二増
不取引	七	一〇増
計	一〇四	六四増

本年度累計六四七件四二減、損害賠償金額百四十九圓六十錢、手小荷物は四件見舞金二千八百圓、貨物四十八件、一千八百六十七圓九十二錢、見舞金、一圓七十七錢、計五十件二千十七圓五十二錢、見舞金二千八百一圓七十七錢、累計二百五十七件、一萬一千二百八十五圓九十錢、見舞金、六萬五千九百二十圓七十三錢、賠償事務處理日數本部處理發生から要償迄一三、八三日、要償から賠償迄五、五七日、驛區長處理發生から要償迄六〇〇日、要償から賠償迄五、〇〇日、計發生から要償迄一三、六一日、要償から賠償迄五、五五日

暴利取締令はこちや知らぬ
組合規定は無視し平氣で値段表をかゝげる

新京市中の下宿業、飲食店、菓子商等が物價騰貴で現在規定の＝料金＝ではとてもやりきれぬから値上げしたいと其筋の認可を得るため出願して容れられなかつたもの、或は出願しやうと協議中當局が態度却々強硬で却下になりさうな形勢を察知して其儘ですましてしまつた向もあるやうだが、一方市中の飲食店の組合規約などといふのは空文で勝手氣儘に値上げをして知らぬ顔をしてゐる店がある、組合規約では天プラソバうどん三十錢と決つてゐるのを三十五錢取り天丼五十錢の規定を五十五錢取りゐるなどの外、甚しいのは組合に加入してゐないで隨意の値段で營業してゐるのさへある

＝所謂＝傳家の寶刀暴利取締令もこうやら威光が薄らいだやうであると囁かれてゐる

喘ぐ黑河に晴やかな陽光
トラック三十臺の食糧に住民歡喜にむせぶ

【チチハル廿二日發國通】舊軍閥の搾取、兵匪の掠奪、北滿未曾有の水害、更に交通一切の杜絶等により物資極度に缺乏、文字通り塗炭の苦を嘗め瀕死の喘ぎをくり返して居る黑河は關作霖司令の入城により更生の意氣に燃えしゐるが、物資の救濟は焦眉の急を告げてゐるので、韓雲階省長以下省政府では協議の結果、二十三省科任黑河資政局長馮守德氏の率ゐる宣撫員一[illegible]十三名はトラック三十臺に約三十萬圓の食糧（麥粉四萬五千袋以下多數）を滿載し歴史的王道政治の急先鋒となり、黑河救濟に赴く事となつた一月迄は反滿抗日の態度を表明し強硬にたてつく事を餘儀なくされた黑河住民も滿洲國の王道治下に屬するや一旬を出でず新政の復興を見たるは舊軍閥政治に比し隔世の觀ありと北滿の一角にも王道政治の晴やかな陽光が漲り渡らんとしてゐる

張景惠氏へ
日本赤十字社有功章を授與

來京した日本赤十字社副社長中川望氏は二十一日滿洲國參議院議長張景惠氏を訪問し參議府において同氏へ日本赤十字社有功章を授與した

名士と趣味 〔9〕
弓術
新京在鄕軍人分會副會長 下德直助氏

□……下德直助氏は極めて趣味の廣い人、一寸汚い言ひ廻しだが「自分はてうど糞蠅のやうなものだ、なんにでもたかりたがる癖があるんで……」といつてゐる、武道なら柔道、劍道、弓術、銃獵、それに氏の所謂「かけつて」（ランニングのこと）に至るまで何によらず一通りやらぬものはない刀劍の鑑識なども仲々大したもの、さいへば何だか武道一點張りのやうに思はれるが、さに非ず近頃は尺八の名手であり、夫人のお琴と合奏するだけに柔かい腕前をも持つてゐるから恐れ入つたものである

□……氏は幼年の頃からしつかり者で隨分負け嫌ひの性格であつたらしい、その昔武士と町民の差別が著しかつた頃「なに！武士なんぞ負けるものかい」といつて八歳の時から槍術の稽古を始め、十三歳にして柔劍道を始めたが何事につけても負けぬ氣で熱心な性格はその當時から現はれてゐたやうだ「武道でも刀劍でも何でも同じことだが慾が手傳はねば上手にならん例へば劍道にしても熱心に稽古する頃は食事中箸の上げ下げにも忘れなかつたもの、普通人の吾々には人並み優れた努力が要するものだ」とは誠に尤もなことであらう

□……氏はこれら多方面の趣味に入るまでには、それぞれ動機があるこれらを一々聞いて見ると長春草分け時代からの氏の奮闘史であり、武勇傳であり、また一個の面白い小説ともなるんだがこゝでは唯だ、今も昔も變らず愛好し熱心につゞけてゐる弓術について氏の思ひ出をたどつて見ることにしやう

□……話は明治四十二年の昔にさかのぼる、氏は二十幾歳かの時である、突如馬賊の襲撃とあい重傷を受けて別府に入湯に出掛けたある日のこと兩腕の自由を失つてつれづれのまゝに、ある谷川の邊りに立つて美しい清水の中に小さい魚逹が樂しさうに遊んでゐるのを見てゐたさうだ、そのうち西日も傾いて氏は歸らうとすると「若いの若いの」といつて誰か自分を呼ぶ者がある、ふと見るとそこには白髯の翁が立つてニツコリ笑つてゐる、恰年幼年の頃別れた氏のおぢいさんそのまゝの姿であつたさうだ

□……翁の尋ねるまゝに滿洲で馬賊に會つたこと、そうして療養にこゝまで來たことなどを話したところ翁は大きく肯きながら「それは面白い、再び滿洲にゆけきつと成功するに違ひない」といつて激勵し「兩腕の動かないのは弓術をやればすぐ癒……」といつて立ちかけたそうである、黄昏は迫つて來るし氏はその翁について山をあがつたが翁がスタスタ歩いてゆく、氏は早足でそれについていつたが何うしてもついてゆけない遂に廻り角で見失つて終つた聲をかけたがそこには唯だ山彦がこだまするばかりで何の答へもなかつたといふ

□……それから、入湯とは名のみで頻りに弓を始めたが見る間に兩腕の不自由も癒り、以來ずつと弓術の稽古は缺かしたことなし今では允可皆傳まで受けてゐるが、弓は運動として過激ではなく老幼強弱を問はず男女誰でも出來る上に、頭腦を壯快に膽力を養ひ心境轉換にはもつて來いで、胸廓をひろめ血行をよくして自然に姿勢をよくする實に得難いスポーツである、世相浮薄の今日、料亭やダンス場に遊ぶことをやめて、一般にもぜひ此の弓術をすゝめたいと頻りに賞揚してゐるのも道理であらう

在鄕軍人大會で
聯盟卽時脱退を決議 各方面に打電手交す

【東京廿一日發國通】聯盟脱退に決し、帝國政府が光榮ある孤立の途を決然と踏出すとき、帝國在鄕軍人會第一師團管下第四聯隊區代表二萬は午後二時から靖國神社境内に參集緊急大會を催、脱退卽時斷行の決議をなした、大會は國歌合唱によつて開かれ、先づ一同宮城遙拜、靖國神社の拜禮を行ひ、次で鈴木在鄕軍人會會長の訓辭、參謀本部有志を始め來賓の激勵的挨拶あり、宣言決議を可決、天皇陛下の萬歳を三唱、三時大會を終へたが宣言決議は聯盟並に帝國代表に打電する一方、閣公を始め總務大臣、兩院議長政黨總裁に手交した

愈よ四月から北鮮阪神間就航
大阪商船の二優秀船

大阪商船では吉會國際鐵道敦圖線八月開通後に於ける日滿交易頻繁に伴ふ阪神北鮮間直通航路の必要性に鑑み各種の新計畫樹立中であるが、其の第一着手として阪神淸津間直通航路を開設する事と成りいよいよ來る四月からこれに優秀客船河南丸、武昌丸の上海就航船を配し一週一回出航させ阪神、門司、淸津、雄基に寄港し、阪神、關門と北鮮主要港間に正確なる定期船を提供し、急送貨物の引受に任ずると共に使用船の優秀客室設備を利用して阪神、北鮮、北滿間の船客及中國西部及九州一圓と北鮮北滿の船客に畫期的便益を與ふる事と為つたので北鮮海運界に一大衝動を與へてゐる（淸津）

馬占山發行の紙幣
回收するに決定
同時に住民の窮狀を救恤

【チチハル廿二日發國通】黑河に於ける馬占山、徐景德一派の發行した多數の紙幣所謂哈大洋を如何に處理するかは義に徐景德が歸順した時から難問題として殘されて居た、當時滿洲國當局は之を僞紙幣と見做し、沒收燒却の筈であつたが、斯くては黑河方面の住民に與ふる打撃の甚大なるに鑑み、省政府と軍部側との斡旋により之を回收する事になり、近く皇軍護衛の下に巨額の國幣を黑河に輸送する事となつた、尚ほ我軍は黑河の人民の窮狀を察し、之を救恤するため多數の食糧防寒具を國幣輸送と同時に黑河へ輸送する事に決定した

協和會が
日語學校設置

日滿親善のため滿洲國協和會の他に辦事處は全滿を通じ數ケ所にて一般民衆に日語の授をなして居るが、名稱內容教科書等が皆な異つて居るので統制の必要を認め日語學院となす事になつた、尚哈爾濱地方事務局並に呼蘭辦事處、通化辦事處でも日語研究所、日語學校等を開設し目下生徒募集中である

中央通以西は廿三日は斷水
第三水源池浚渫のため

新京滿鐵地方事務所水道係では二十三日朝から第三水源地の井戸浚ひをすることゝなつたが、そのため送水半減じ市中の高地つまり中央通りから西の地帶は作業時間午前九時から午後五時位までの間斷水を見るから豫め諒解されたいと尚中央通り以東でも減水する區域があるかも知れないと

增氏新參議に
近く特任式を擧げる

二十一日の滿洲國參議府會議において增韞氏を參議に任命するの件の諮詢に應じ全員一致異議なく可決答申した多分二月中には特任式を擧行されるはず

新參議は號を子固と稱し本年七十三歳だが元氣かくしやくたる人、現に阜民林業公司、鶴岡煤礦公司の各理事長たり、實業界の重鎭であるが、氏は四川省生れ、蒙古の旗人として淸朝時代は承德縣知事新民府知府、奉天府府尹直隸省藩台（民政廳の如し）同臬台（財政廳長の如し）浙江省巡撫等を[illegible]は頗る人望のあつた人で、民國以後は官を辭し專ら實業方面に關係して今日に至つた

國務院統計事務規程
廿二日に公布

十二日院令第三號を以て左の如く公布した

院令第三號

國務院統計事務規程

第一條　各部總長及興安總署總長は別項の規定により其の管理する所の統計報告を國務總理に送呈すべし

第二條　各部總長及興安總署總長は統計報告規程を訂定し、並に其の所轄の各官署長の提出すべき統計報告要項順序及株式を明示すべし

前項統計報告規程を訂正し或は重要改訂を加へんとする時には國務總理に呈准すべし

第三條　各部總長　省長　興安分署長、及東省特別區長官は其の薦任官の中より一人を派定して統計主任となし常に其の統計處長と聯絡せしめ、凡ゆるその掌管する所の事項の統一並に編成及報告等の事務の責を負はしめ、前項統計主任を派定し或は變更せんとする時は所屬長官より該員の姓名を統計處長に通知すべし

第四條　統計處長統計編制をせんとする時は國務總理に呈准して各部總長　總務廳長　興安總署總長　省長　興安分署長及東省特別區長官に必需の統計材料の交付を要求すべし

第五條本規程は公布の日より之を施行す

馮占海部下
後方攪亂が發覺 銃殺さる

吉林省永吉縣第二區北塔木東馬廠農業宋桂馨（三七）は反滿匪首馮占海の率ゐる部下で第二營第三連長の任にあつたが滿洲國軍の熱河攻略を聞くや馮占海の命を受け滿洲國軍隊の後方攪亂を畫策し、前記郷里に潜入自警團を勸誘救國軍を組織し一擧に吉林城襲撃を企て德勝門內德興客棧に投宿同志を糾合中を吉林憲兵隊に探知され十七日逮捕取調の結果身柄を滿洲國に移送銃殺に處した

電飾と綠門
建國記念日に

滿鐵地方事務所では三月一日の建國記念日に際し新京附屬地の大玄關に當る驛前廣場の各電柱に電飾を施しまた城內と附屬地の境界に當る日本橋に大アーチを造ることとして何れも二十七日から着手することになつてゐる

▲精養軒のトシ子近頃メキメキと奥さんタイプを發揮して來ました何故でせうそれは……知つてしまへばそれ迄よ▲同じくジュン子風紀取締にふれる恐れのある發賣禁止の歌が得意ですやはりみつちり修業した人はどこか違つてです。▲ここえモナミからおあづけの身となつてゐるマサも特殊な事情があるので新京者も特別待遇をしてゐるんです果して一米槍は？▲三笠のジュン子ゃんちゃんのヨーさんは或る事情の爲に斷然手を切つたとの事です、然し未だ色々な手を持つてゐるさうです▲以前バー上海に居た八重子榮子今はときめくダンサーとしてキャピタルで至つて心細いステップを踏んでゐます▲その中八重子ありし日の大連時代はハーさんと……だが現在に生る彼女は又新に誰れかの……と浮世はそれでいいもの

三男禎三儀豫而病氣の處養生不相叶二月二十一日午後十時死去致候間此段謹告仕候

追而葬儀は今二十三日午後二時於隣町長春寺相營申候

昭和八年二月二十三日

父　千葉修一

親戚總代　瓜谷長造

婦人と家庭

榮養に對する
親の無知が子の發育を遲らす
で學校給食が喧ましい　その實際の効果は？

最近非常に問題になつてゐる學校給食といふことはたゞ貧しくて食べられないでゐるかはいさうな子供、つまり缺食兒童に食べさせてやるといふ意味ばかりでない親たちの榮養に對する無知から、又不注意から全く不合理なお辨當を食べさせられてそのために正當な發育もにぶつてゐることは重大なことだ……といふことに對してつまり榮養改善といふ意味からも殊に大切な問題であります、で榮養改善を行つたらどのやうな効果があるか、この實例として最近に行つたものゝ成績をごらんに入れませう。

＝仙臺＝の東六番町小學校で、縣の衞生課の榮養士指導のもとになされたものです。まづ五年生約百名ばかりを男女共二組にきつかり分けてしまひました そして一組にはこれまで通り家庭からお辨當を持つて來ます。他の組には榮養士指導のお辨當を與へることにしましたかうして、五十八日後に、二組を比較して見ると、まづ身長に於ては榮養食の組は、最初男子の平均一三三、一四センチだつたものが一三四、三六へ、つまり一、二二センチ増加しましたが、家庭辨當の組は一三二、四四から一三二、九五へ〇、五一の増加ですから半分にもなつてゐないのです

＝女子＝の方では、榮養食の組の最初の平均自最一三一・九八から一三四・一五ですから二・一七の増加なのに、家庭辨當の組は一三四・三四から一三五・五五までですから一・二一しか増加しません、次に胸圍では、男子の平均六三・三七センチから六六・〇九で二・七二も増加するものを、家庭辨當だと六二・八七から六四・九四でたつた一・〇七の増加です女子では、六二・六二から六五・〇二へ、つまり二・四〇も増加してゐるのに、一方は六三・〇四から六四・五八でたつた一・五四の増加です、又體重を見ても、男子の三三・七〇キロから三四・四〇まで〇・七〇の増加に對し、家庭辨當は二九・三二から二九・七〇で〇・三八、殆ど二分の一です、女子では二九・一九から三〇・一五で〇・九六もの増加に、家庭辨當では三〇・二九から三〇・六七まで〇・四二ですから半分にも足りません、その他皮下脂肪、皮膚の色澤、握力、疾病、皮膚の彈力、この關係等すべてに於ては著しい相違をあらはしたものです。ではその榮養料理はどんな料理をしたか、決して特別なものも高價なものを使つたわけではありません。

＝値段＝からいつたらこれまでよりおそらく安くついたらうと思はれるのですが次にそれに用ひた材料を記して見ませう。米は標準精米の無砂七分搗きで、副食物は、動物性食品としては、鹽鮭、鰹節、いわし目ざし、牛鱈、煮干、かまぼこ、牛肉、しらす干、卵、鰊、かれい、鯉牡蠣等植物性食品ではきな粉、胡麻、油揚、味噌、大豆海苔、納豆、うづら豆、切麩、ほうれん草、キャベツ甘藷、人參、じやが芋、白菜、牛蒡、里芋、大根、玉葱、調味料としては砂糖、醤油、鹽、酢でした

人前で欠伸は失禮
或る程度までは防げる

□欠伸は一つの生理作用でありますから、絶對に防ぐわけにはゆきませんが、或る程度までは防止することができます。

□まづ夜間睡眠を充分にとること榮養を充分にとること、深呼吸をなして血行をよくすること、豫め頸部、胸部の諸筋肉を緩めておくこと、そしてすべての物事に興味をもつてあたり、そのうちから何物かを發見しようといふやうな習慣性を養つておくと、欠伸をすることは少くなるのです

□もし欠伸が出さうな感じがしたときは、すぐに深呼吸をした場合によつては稍々大きな呼吸を數回繰り返すと、欠伸は消去るものです。

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	五九 九七	氷鯛	一八
アマ鯛	一三	マグロ	四七 〇〇
ニベ	二〇	ヒラス	三三 四九
スヽキ	二一	サバ	二二 〇七
カレイ	八 一〇	ヒラメ	九 二一 三三
ワグ	一四	カズノコ	一二 二二
星カレ	二一	ボラ	二一 一九
コノシロ	三四	キス	三一
マナカ	二九	ハゲ	四二
ツオ	五八	メバル	一六
オコゼ	一六	サヨリ	二一 〇〇
ムツ	一八	カマボコ	六六
タコ	一六 三一	ホタテ貝	一二 二〇
チクワ	八 二〇	甲イカ	八
赤貝	八五	車蝦	二四 七九
伊勢蝦	一九三 一七〇	カニ	一一 五二
コエビ	五〇	アナゴ	五六
ハモ	三〇	ナマコ	二一 六〇
貝柱	三五	シジミ	一二 〇二
カキ	二五		一〇
アワビ	四三 九一		

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第二十八回

美女誘かい (五)

『おまへさん。元よりの船頭衆ぢやねえな』

『…………』

『その手の白さ、その首元の優しさ、それになんだ、櫓のあやつり工合なぞ。うまくねえぞ』

『…………』

『おや、默つてゐるね。何とか返事をしてもいゝぢやねえか』

『こりや、靜かにしろ』

沖の黒船をみつめてゐる典膳は、そちらを向いたまゝ、藤太を叱つた。

『へえ』

藤太は、[illegible]存んだが、彼の眼は。じつと船头の動作へ注がれてゐる。

月は、こう〳〵と輝き、海は神秘の沼の様に靜謐をたゝへてゐる。ただ傳馬船の櫓の音とダブリ〳〵と[illegible]破る音だけが、あたりに響き渡る。

やがて、沖の黒船、フランス東洋艦隊司令官モリエール少將の乗組んでゐる三本マストの軍艦アレキサンデル號の黒い巨きな舷側へ吸はれるやうに、傳馬船は横づけされた。

そこには、頑丈な縄梯子が人待ち顔に垂れてゐた。若者は、その端へ傳馬船をつないだ。

『さア、藤太、一緒にまゐれ』

典膳は、勇敢に縄梯子を登つた

『わつちも上るんですかい』

藤太は尻込みした。

『そちが案内役ぢやまゐれ』

『…………』

いまは、尻込みもならず、藤太はそのあとに續いた。

『船頭衆、一刻ほど待つてをれ』

縄梯子の中途で、傳馬船を見下し、典膳は聲をかけた。

『へえ』

若者は、かすかな聲で返事したが、ふたりの若者が甲板へ消えてしまうと、彼は、急に態度をあらため、帯を締直した。

そして彼も縄ばし子へ両手をかけた。月光にぬれた華奢な手を。

空つぽの傳馬船は、半刻ほど、黒船の舷側で小波に揺られてゐた。

そのうちに、人影もない上甲板に、がや〳〵數人の入まじつた話聲がきこえはじめた。そして、そのうち三人ほど縄ばし子を降りてゐる。

先頭が乾典膳、その大きな夜目にもあでやかな女姿、山村紫園であらう。殿りが獵奇趣味にのぼせてゐる青剃り藤太。

上甲板では、モリエール少將が部下數名とともにそれを見送つてゐる。

先頭の典膳が縄ばし子の最端へ來て傳馬船へ乗りうつらうとしておもはず呟いた。

『はて、いづれへまゐつた?』

『だ、だれです?』

上から藤太も叫んだ。

『船頭が消えてしまつた』

『えッ!』

『どうしたンです?』

女は忌々しさうに藤太をかへりみた。

『だつて、たしかに居つた奴が、半刻ほどのまに消えたとなると、こいつア、やつぱり化物にちがひねえ。おいらア、さつきここへくる途中、すでに怪しいとおもつたのだ。

『藤太、甲板へ引返せ』

典膳は烈しく叫んだ。

『どうするんです?』

怪しい若者は黒ふねへ忍び込んだものに違ひない。引返せ』

縄ばし子を降りかけた三人は、いそいでまた上甲板へ登りはじめた。

と、そのとき、黒船の方にあたり、時ならぬ人々の叫喚が爆發するやうに起こつた。

――わアッ――